

「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等施設の活用 牛込第一中学校等施設の設計」に関する意見募集での意見の要旨と区の考え方

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
1	方針・設計に関する意見	設計全般	施設の配置は決まっているようだが、敷地は区切らず、車いすでも自由に行き来できるようにしてほしい。高齢者施設の入居者が、中学校の運動会や文化祭を見学したり、防災広場に遊びに来た子どもたちとふれあえるよう、バリアフリーにしてほしい。	施設のバリアフリー対応については、ご指摘のとおり設計において、高齢者施設の入居者が、中学校の運動会や文化祭を見学したり、防災広場に遊びに来た子どもたちとふれあえるように設計上の工夫をしていきます。併せて、ユニバーサルデザインに配慮した計画となるよう設計を進めていきます。
2	方針・設計に関する意見	設計全般	高齢者施設の道路を挟んだ向かいには、北山伏児童館・地域交流館、子育て支援拠点ゆったりーのも隣接しており、災害時には避難場所として連携し、役割分担が出来るためにも、日ごろから交流や連携した企画がしやすいよう、それぞれにオープンスペースが設けられることを期待している。 そのために、北山伏児童館に面した側にも何らかの出入り口やスペースが設けられると、活用の幅が広がると考える。	牛込第一中学校や防災広場は災害時の避難場所や活動拠点となることから、各施設の利用者のアクセスに配慮した計画となるよう設計を進めていきます。
3	方針・設計に関する意見	設計全般	施設は、掃除しやすいつくりを希望する。(ガラスは子どもが分からずに突っ込んでいくので減らしてほしい)。	牛込第一中学校の建設については、設計を行う上で清掃しやすい施設を検討するとともに、例えば、透明なガラスが視認できるような衝突防止表示を施すなどの安全対策を講じます。
4	方針・設計に関する意見	設計全般	新宿区は、区の西側には大規模緑地が多いが、東側には全くなく、少しでも緑地として残すべき。	植樹の場所等については、設計の中で検討してまいります。
5	方針・設計に関する意見	設計全般	本計画のエリアは広域避難マップ上で黄色やオレンジの地域だが、第一避難場所も遠く、戸山公園までは遠すぎる。水害があるとは思えないが、もし懸念されるなら、多くの住民が避難可能な(上階避難できる高さ)の建物もお願いしたい。 また、地下に貯水できる施設なども建設してほしい。	防災広場の整備にあたり、災害時の避難や応急活動等の拠点として有効に活用できる防災設備等の設置についても今後、検討していきます。 また、牛込第一中学校は避難所、高齢者施設は福祉避難所に位置づけられることから、災害時の活動拠点として必要な機能を整備してまいります。
6	方針・設計に関する意見	設計全般	本計画の各施設は地域の防災機能として重要な役割を担うため、避難所となる牛込第一中学校に、停電への備えとして、自立分散型電源(コージェネレーションシステム、太陽光発電、蓄電池等)を確保するとともに、停電対応型の空調設備を導入すべきと考えます。	災害時の活動拠点として必要な機能の整備については、今後の設計で検討していきます。
7	方針・設計に関する意見	設計全般	災害発生時、牛込第一中学校及び高齢者施設から防災広場への電力、給湯等のエネルギー供給を検討することを提案する。	防災広場の整備にあたり、災害時の避難や応急活動等の拠点として有効に活用できる防災設備等の設置についても今後、検討していきます。

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
8	方針・設計に関する意見	設計全般	牛込第一中学校は、生徒数も少ない現在、建て替えることには賛成できない。 新宿区東部には大規模の緑地がないので、防災等にも有効な場となる緑地として残ると良い。	現在、学校からは雨漏りの報告を受けるなど、建物の老朽化に伴う支障が生じている状況や、複雑化した校舎内の移動経路の見直し、バリアフリーの必要性等を踏まえ、安全な教育環境を確保するためには、校舎の建替は必要なものと考えています。 また、緑地として整備はしませんが、防災広場を整備し、災害時の避難や応急活動等の拠点として有効に活用できる防災設備等の設置についても今後、検討していきます。
9	方針・設計に関する意見	設計全般	敷地北側に施設建物を建てる場合、周囲の住宅の日照に十分考慮すること。 また、施設の部屋、屋上などから隣地住宅の内部を覗けないよう、部屋の配置、窓、その他を考慮すること。また一般的に防音対策をしっかり行うこと。	整備については、日照(日影)、通風を含め、法令及び計画地に定められた規制を順守する計画とします。 ご指摘の窓の配置や防音等に対する、隣地住宅への配慮については設計の中で検討していきます。
10	方針・設計に関する意見	設計全般	旧都立市ヶ谷商業高等学校の校庭から自宅に、現状同様の通風の維持ができる校舎建築を希望する。 また、校舎や人の出入りが多い建物が、自宅境界面に隣接しない建築を希望する。 室外機等の音の出る機器の設置について、自宅境界面側に面することを避けること。 ごみ置き場や、給食の調理中の臭いが自宅へ入り込むのを防ぐ為の対応を行うこと。 自宅窓が境界側に面しているため、窓が覗きこまれないような建築を希望する。	整備については、日照(日影)、通風を含め、法令及び計画地に定められた規制を順守する計画とします。 また、各施設の利用者のアクセスに配慮した計画にするとともに、ご指摘の近隣の環境への配慮については計画の中で検討していきます。
11	方針・設計に関する意見	設計全般	建築物について、下記の事項を要望する。 ・校庭と校舎から視線が気にならないように建物の窓の配置や目隠しなどの考慮 ・自宅の敷地から一定以上の距離を保つ配置 ・階段・廊下の防音対策 ・窓の配置について、校舎から視線を感じないつくり ・建築物からの騒音対策 ・落下物対策	整備については、日照(日影)、通風を含め、法令及び計画地に定められた規制を順守する計画とします。 また、各施設の利用者のアクセスに配慮した計画にするとともに、ご指摘の近隣の環境への配慮については計画の中で検討していきます。
12	方針・設計に関する意見	設計全般	牛込第一中学校の新校舎によって近接住宅の日照が損なわれないよう十分な配慮を希望する。	牛込第一中学校の建設については、日照(日影)、通風を含め、法令及び計画地に定められた規制を順守する計画とします。
13	方針・設計に関する意見	設計全般	建築する建物の高さについて、いつ頃決まるのか、もしくは既に決まっているのか教えてほしい。	現在、設計を進めており、基本設計が完了する令和5年の秋頃までにはおおよその高さが決まる予定です。なお、建物の高さや日照(日影)、通風を含め、整備にあたっては法令及び計画地に定められた規制を順守する計画とします。
14	方針・設計に関する意見	工事関係	近隣の道は狭い為、工事車両が路上駐車をしないようにお願いしたい。 また、在宅勤務をしている為、工事の際の騒音・振動を低減するための工夫をお願いしたい。 住民の意見も尊重しながら工事を進めてほしい。	工事にあたっては、安全対策を万全に施し、騒音・振動の低減を図ります。工事車両の動線計画等については、法令を遵守するとともに近隣への影響を可能な限り少なくした計画を検討していきます。

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
15	方針・設計に関する意見	工事関係	解体工事期間が、2年半以上の長期間にわたるため、周りの住宅地への影響を考慮し、騒音、振動、塵埃などには、最大限の注意を払うこと。 また、周囲は市ヶ谷小学校への通学路であり、当然のことながら、車両も含め工事関係者は安全につき最大限の注意を払うこと。	解体工事については、安全対策を万全に施し、騒音・振動の低減を図ります。工事車両の動線計画等については、法令を遵守するとともに近隣への影響を可能な限り少なくした計画を検討していきます。
16	方針・設計に関する意見	工事関係	解体工事について ・旧都立市ヶ谷商業高校の校庭や塀の上をハクビシンが走り回っているのを保健センターの引越し作業の頃目撃している。ハクビシンやネズミなどの害獣が住み着いていると察しており、解体工事とともに害獣が近隣住宅に移動することを懸念している。解体工事着手前に害獣駆除を実施してほしい。 ・住宅が近接しているので騒音・振動・塵埃対策を最大に講じてほしい。	解体工事については、安全対策を万全に施し、騒音・振動の低減を図ります。工事車両の動線計画等については、法令を遵守するとともに近隣への影響を可能な限り少なくした計画を検討していきます。 また、害獣の駆除については、害獣の状況を調査した上で必要に応じて対策を行います。
17	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	牛込第一中学校校舎は、少子化による生徒の減少にあわせ、最小規模での建設を希望する。	牛込第一中学校校舎の教室数については、地域における生徒数及び区立中学校への就学率等を考慮した上で、必要と見込まれる規模での建設を検討してまいります。
18	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	福祉(住民の運動施設なども含む)、防災等に資する場として活用することは賛成だが、牛込第一中学校の建て替えは、現在の、生徒数の大幅な減少状況(区資料)、教員のなりての減少などを考え、現時点で校舎建て替えについては反対である。(すでに耐震対策も行っている。) 建物は一度作ってしまうと簡単には壊せない。過日の説明会のような建て直しありきではなく、当面建て直さないことも含め、考え直すべきである。	牛込第一中学校のここ数年の生徒数は約100名の規模が続いています。現在、学校からは雨漏りの報告を受けるなど、建物の老朽化に伴う支障が生じている状況や、複雑化した校舎内の移動経路の見直し、バリアフリーの必要性等を踏まえ、安全な教育環境を確保するためには、校舎の建替は必要なものと考えています。
19	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	牛込第一中学校のプールは、新宿区の東側の地域で利用できるスポーツ施設として、屋内プールを整備してほしい。	牛込第一中学校のプールの地域利用については、夏季期間の利用を予定しており、地域の皆様にご利用いただけるような整備を検討してまいります。
20	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	牛込第一中学校校庭にナイター設備を整備してほしい。	校庭や施設に整備する設備については、今後、教育活動や施設開放の運用方法等と合わせて検討してまいります。
21	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	中学校の校庭については人工芝の設置を望む。	牛込第一中学校の校庭は、防災広場との一体利用も予定していることから、今後、利用用途等を踏まえながら検討してまいります。
22	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	校庭に木を植えて木陰を作してほしい。	植樹の場所等については、設計の中で検討してまいります。

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
23	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	中学校と図書館を併設すると、入口はどうするか。図書館は多くの人が入り出するのに対し、中学校の門は関係者以外立入禁止となっている。どのように解決するか。	中学校と図書館の入口については、中学校のセキュリティを確保しつつ、各施設の利用者のアクセスに配慮した計画となるよう設計において検討していきます。
24	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	地域図書館利用者について、不審者対策として学校に部外者が進入できないようにしてほしい。	地域図書館の利用者と中学校の導線を明確に分けるなど、中学校に部外者が侵入することのないようセキュリティ対策については、設計の中で検討してまいります。
25	方針・設計に関する意見	地域図書館	中町図書館は、地下にあるため高齢者の利用には不便を感じる。また、非常に手狭で、閲覧したり読む場所もごく限られている。四谷図書館のような広いスペースを要望する。	地域図書館については、設計を進める中で規模は決まってきます。現在約500㎡の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。
26	方針・設計に関する意見	地域図書館	中町図書館が組み込まれることに賛成する。狭いうえに階段を使わないと入れないため、高齢者・ベビーカーや車いすの方に不便だった。 ほかの図書館まで距離もあり、近くに書店もないため、子どもへの読み聞かせができないこと、地域の子どもたちが集えないことも懸念事項だった。 とにかく広いスペースで、ディスタンスを保ちながら地域の皆さんが集える場所を作ってほしい。	地域図書館については、現在の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえ、スペースやゾーニングなどは、今後、設計を進める中で検討していきます。
27	方針・設計に関する意見	地域図書館	中町図書館を毎週利用していて、子連れで困ることについて ・階段を子どもの手を引きながら昇り降りすると、対面で誰かとすれちがうとぶつかりそうになりヒヤッとする。 ・ベビーカーで直接入れず、ベビーカー置き場も狭く、子どもを抱っこして本を持って昇り降りするのは危険を感じる。 ・絵本を広げて読むスペースが限られていること。週末は混んでいて、ゆっくり選ぶ余裕がない。	地域図書館については、現在の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえ、スペースやゾーニングなどは、今後、設計を進める中で検討していきます。
28	方針・設計に関する意見	地域図書館	地域図書館は、中学生たちが学校教育で利用する図書館と一体なのか。そうだとすれば地域図書館と学校図書館の線引きを明確にしてほしい。	地域図書館については、学校図書館とは性質も利用する時間帯も異なるため、出入口や動線は別にと考えており、今後、設計を進める中で検討していきます。
29	方針・設計に関する意見	地域図書館	川崎市の図書館のように、未成年と成人とで利用できる机をエリア分別する等の対策を取り、学生も一般区民も利用しやすい図書館にしてほしい。	地域図書館については、現在の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえ、スペースやゾーニングなどは、今後、設計を進める中で検討していきます。
30	方針・設計に関する意見	地域図書館	地域図書館について、ソファや椅子を置き、そこで読書できる場所を広くとり、子どもや高齢者など皆が座って読書を楽しむ所にしてほしい（場所取りのストレスフリーの実現）。	地域図書館については、現在の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえ、スペースやゾーニングなどは、今後、設計を進める中で検討していきます。

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
31	方針・設計に関する意見	地域図書館	地域図書館について、受験生が無料で自習できる場として、自習机を充実するとともに蔵書を充実してほしい。 また、お年寄り、車椅子の方でも気軽に利用できるよう、バリアフリーにしてほしい。	地域図書館については、現在の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえ、スペースやゾーニングなどは、今後、設計を進める中で検討していきます。
32	方針・設計に関する意見	地域図書館	地域図書館について、雑誌や情報誌などを、座って読む場所を増やして欲しい。 また、子供エリアは読み聞かせ等があるため、分離してほしい。	地域図書館については、現在の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえ、スペースやゾーニングなどは、今後、設計を進める中で検討していきます。
33	方針・設計に関する意見	地域図書館	図書館には、こどもがリラックスして、くつろぎながら本を読めるスペースや、ソファなどがあると良い。 中高生が気軽に勉強できるスペースを設け、子どもが、予約や時間制限などなく、気軽に勉強できるようにしてほしい。	地域図書館については、現在の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえ、スペースやゾーニングなどは、今後、設計を進める中で検討していきます。
34	方針・設計に関する意見	高齢者施設	同一敷地に中学校は新宿区立、高齢者施設は民設民営ということか。	中学校については、区立の中学校として建設・運営いたします。 高齢者施設については、民間事業者が専門性を活かして運営していくことが最善であると考えているため、民間事業者による建設・運営で進めてまいります。
35	方針・設計に関する意見	高齢者施設	高齢者施設は民設民営で、特別養護老人ホームが運営していけるのか。 特別養護老人ホームは多床室ではなく個室の場合、何部屋できるのか。デイサービスは、サービス事業者が多すぎると耳にしているがスペースとして考えないのか。	高齢者施設については、民間事業者が専門性を活かして運営していくことが最善であると考えており、整備事業者選定については公募によるプロポーザルを予定しております。 特別養護老人ホームについては100名程度の規模を予定しています。特別養護老人ホームは区内で多くの入居待ちの方がいる状況であり、広い土地の確保が必要なため、本事業による整備が必要と考えており、デイサービスの整備は予定しておりませんが、詳細は整備事業者決定後に決まります。
36	方針・設計に関する意見	防災広場	防災広場は、遊具のある公園施設でもあるのか。この地域は、保育園が多くできて、戸外活動で公園を利用することが多いが、どこも手狭な公園のため、保育士さんたちが苦労している。乳幼児たちが安心して体を動かせる広場にしてほしい。	防災広場の運営については、地域の行事や活動、周辺の保育所の園児の戸外活動等で活用できるように、今後、整備を進めていく中で検討していきます。
37	方針・設計に関する意見	防災広場	防災広場については、子どもたちも（小さなお子さんも小中高校生も）自由に遊べる場になると良い。例えば、曜日や時間を決めて、大人が見守る場というのも考えられる。	防災広場の運営については、地域の行事や活動、周辺の保育所の園児の戸外活動等で活用できるように、今後、整備を進めていく中で検討していきます。

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
38	方針・設計に関する意見	防災広場	防災広場などを、地域のにぎわいや緩やかなつながりをつくり出す事を目的に、図書館と地域住民が一緒になって2021年に立ち上げた、中央図書館の空き地（旧中学校の校庭）部分を活用した「そらとだいちの図書館」同様の取り組みが出来る仕様にして、同様のプロジェクトを立ち上げてほしい。	防災広場の運営については、地域の行事や活動、周辺の保育所の園児の戸外活動等で活用できるよう、今後、整備を進めていく中で検討していきます。
39	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	牛込第一中学校に下記の新しいシステムを作してほしい。 ・校則を無くす。 ・政治が不安定なため、外国へ住まなければならない人々が多い。そういう人々が通える小学校・中学校・高等学校が求められている。そのため、国籍を問わず、英語で多くの授業を行う。また、経済的に貧しい方にも教育を受けることが出来るよう、制服は無しとする。 ・日本語が出来ない子も、障害のある子も学べる学校にする。 ・高校・中学校・小学校・乳幼児施設・特別支援学校が一緒になった、各学校を区分しない、フリースクールのような学校にする。 高校中退した方や、年配の方で高校出てない方も通える学校にする。 ・システム運営は、小学校、中学校、高校、大学、大学院を運営し、文学部に図書館情報学部があり、通信制もある慶應義塾大学が行う。 医学部からは、医師、看護師に来てもらう。 ・乳幼児施設はNPO法人フローレンスが運営する	ご指摘の件について、新宿区教育委員会では、現在、2018年度から2027年度を計画期間とする「新宿ビジョン」に基づき、以下の3つの柱に示す教育の実現に向けて取り組んでいます。 ①子ども一人ひとりの「生きる力」をはぐむ質の高い学校教育の実現 ②教育のまちに学び、家庭や地域とともにすすめる教育の実現 ③時代の変化に対応した、子どもがいきいき学ぶ教育環境の実現 今後も、学校運営上の方針や教育内容については、子どもたちを取り巻く社会状況や、社会で求められる資質・能力等を総合的に勘案しながら、適宜、教育内容の充実に向けた取組を進めてまいります。
40	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	乳幼児、小学校、中学校で提供する乳製品の牛乳・ヨーグルトや文房具についてメーカーを指定させてほしい。	学校給食で提供する食材等については、安定的に提供いただける質の高い製品を選択してまいります。 また、文房具についてはご家庭でご用意いただいていることから、学校からの製品の指定は行っていません。
41	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	コミュニティスクール構想にあるように「地域コミュニティの推進」における学校の役割は大きく、今後の地域発展のために欠かせない。特にとかくそのハード（建物）が注力されがちであるがむしろソフトの充実と継続的な発展が欠かせない。 今回の設計と構想では「地域コミュニティ」に触れているがその内容は不明である。 今回、牛込第一中学校の移転にあたり教育と地域コミュニティの関係性を改めて見直し、それを継続的な発展に結びつけるためには、従来の地域協働学校の枠組みを超えた学校と地域の連携、協働を構築する必要があると感じる。 このような形での学校と地域のあり方について論議が進むことを望む。	建替え後の牛込第一中学校の屋内運動場や特別教室等については、土曜日・日曜日及び夜間等に開放し、地域コミュニティの推進を図り、地域の皆様の活動の場としてご利用いただけるよう整備してまいります。 現在、地域協働学校運営協議会を中心に、生徒の教育活動の充実に地域の方々のご支援をいただいています。今後も、学校が地域コミュニティの核の一つとして、地域が一体となって子どもたちを育む環境づくりにお力添えをいただく一方で、生徒も地域活動の担い手として、地域を支える人材の育成へ繋げていく取組を推進していく必要があると認識しています。

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
42	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	牛込第一中学校について、地域でも有効活用させて欲しい。 花壇を地域の菜園にしたり、校庭や体育館、プールも、子どもの遊び場として開放してほしい。 隣の千代田区では既にはじめている。	牛込第一中学校の屋内運動場や特別教室等を土曜日・日曜日及び夜間等に開放することで、地域の皆様にもご利用いただけるよう整備し、運用方法についても検討してまいります。校庭開放についても併せて検討してまいります。
43	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	地域コミュニティの推進とあるが、現在、区内小中学校の、校庭・体育館・会議室等は、あらかじめ登録された運営委員会方式で管理されており、それと同じような運営であると、非常に限定的な用途と一部の団体だけへの開放としか言えない。 防災の拠点になっていくためにも、体育館などは、登録団体が一定時間貸切る部分のほかに、週末は学校の運営とは別に、地域の人々が集えるスペースになる部分など、日頃から気軽に利用でき、地域の人々の交流が実際にされることが期待される。 併設される中町図書館の一角（入口など）にオープンなフリースペースがあるなど（地域センターのオープンスペースのような）、管理上、学校の負担にならずに、自由度の高い交流の場の設置されると良いのではないかと。	牛込第一中学校及び地域図書館のご利用については、いただいたご意見を参考にさせていただき、地域コミュニティ推進に寄与できるよう、地域の皆様が利用しやすい施設整備や運用方法を検討してまいります。
44	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	校庭開放に近いような、地域の子供たちの休日や放課後の遊び場所として、部活がない日だけでも、日常的に遊びに来られる広い場所を期待している。 そのために、学校と地域に開放される部分の区分けや施錠方法は工夫し、学校が休みの日の防犯上も、地域に開放しやすいスペースづくりを配慮してほしい。 （旧型の学校施設は、地域で利用するには学校の中にスペースがあるため、学校との調整や主事さんによる出入りチェックが必須で、地域利用のハードルが高くなっている。）	牛込第一中学校の屋内運動場や特別教室等を土曜日・日曜日及び夜間等に開放することで、地域の皆様にもご利用いただけるよう整備し、運用方法についても検討してまいります。校庭開放については、いただいたご意見を参考にさせていただき、検討してまいります。 また、防犯上の観点からも、曜日や時間帯によって導線を分けるなど、セキュリティ等の対策を講じた設計・運用方法を合わせて検討してまいります。
45	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	音楽室の充実（楽器を含め）させてほしい。	生徒の教育活動の充実内容については、今後、検討してまいります。
46	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	学校施設開放では、コスミックスポーツセンターで実施しているようなプログラムを実現してほしい。	学校施設の開放については、いただいたご意見を参考にさせていただき、地域の皆様が利用しやすい場となるよう、検討してまいります。
47	その他各施設に関する意見	地域図書館	企画展示、科学実験（文京区教育センターのようなもの）を実施してほしい。	現在、地域図書館で様々な企画展示を定期的に開催しているほか、新宿区立教育センターで理科実験教室を開催しています。 牛込第一中学校に併設する地域図書館については、中学校との連携に配慮した新たな運営形態を整理していく中で、イベント等についても検討していきます。

「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等施設の活用 牛込第一中学校等施設の設計」に関する意見募集での意見の要旨と区の考え方

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
48	その他各施設に関する意見	高齢者施設	高齢者施設を整備する民間事業者に対して、福祉避難所の機能確保を要請し、停電への備えとして、自立分散型電源の確保、停電対応型の空調設備・給湯設備の導入を働きかけるべきと考える。	民間事業者が専門性を活かして運営していくことが最善であると考えており、整備事業者選定については公募によるプロポーザルを予定しております。
49	その他各施設に関する意見	高齢者施設	近隣には、一人で暮らしても自宅での生活を続けたいと思っている高齢者も多いので、そんな方々が集まっておしゃべりをしたり高齢者施設の専門員に相談できるような施設にしてほしい。	高齢者施設については、地域の中で高齢者の自立を支援し、多世代が互いに支え合う「地域支え合い活動」を推進するため、特別養護老人ホームの施設内に地域交流スペースの整備を予定しており、地域の高齢者の方の活動場所を提供する予定です。詳細は整備事業者決定後に決まります。
50	その他の意見		ポーンランド（玩具会社）と組んで、子供向けの室内遊び場を整備してほしい。	旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地の活用については、福祉、防災、教育等に資する場として、隣接する牛込第一中学校の敷地と一体で活用し、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の設置、防災広場の整備、牛込第一中学校の建替え、中町図書館の移転を行います。 このため、子供向けの室内遊び場を整備する予定はありませんが、北山伏児童館1階において、乳幼児と保護者が親子で立ち寄れる「ゆうゆうひろば」などを実施しており、引き続き地域における子育て支援サービスの充実を図ってまいります。
51	その他の意見		レガスや元気館のような総合体育施設（プール、ジム）を希望する。	旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地の活用については、福祉、防災、教育等に資する場として、隣接する牛込第一中学校の敷地と一体で活用し、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の設置、防災広場の整備、牛込第一中学校の建替え、中町図書館の移転を行います。 このため、総合体育施設を整備する予定はありませんが、牛込第一中学校の土曜日・日曜日及び夜間等の屋内運動場や夏季期間のプールについて、地域の皆様にご利用いただけるような整備を検討してまいります。
52	その他の意見		戸山公園のプレーパークを新宿東部でも毎日してほしい（土あそび、ポルダリング）。	旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地の活用については、福祉、防災、教育等に資する場として、隣接する牛込第一中学校の敷地と一体で活用し、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の設置、防災広場の整備、牛込第一中学校の建替え、中町図書館の移転を行います。 このため、プレーパークを整備する予定はありませんが、引き続き区内の公園でプレイパーク活動を行う地域団体等の活動を支援してまいります。

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
53	その他の意見		<p>お子さんのショートステイシステムを作ってほしい。母子家庭の方が利用できる、自治体が運営する乳児院や養護施設を整備してほしい。</p>	<p>旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地の活用については、福祉、防災、教育等に資する場として、隣接する牛込第一中学校の敷地と一体で活用し、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の設置、防災広場の整備、牛込第一中学校の建替え、中町図書館の移転を行います。</p> <p>このため、子どものショートステイ・乳児院・養護施設を整備する予定はありませんが、子ども総合センターと4か所の子ども家庭支援センターにおいて、子育て家庭の多様なニーズに合った子育て支援サービスなどを実施しており、引き続き、地域における子育て支援サービスの充実を図ってまいります。</p>
54	その他の意見		<p>図書館、あるいは地域活動の場として活用できるよう整備される建物に、地域コミュニティの推進を図るために、お話会や寄席、あるいは区主催で夏休みに子ども対象に行う文化体験プログラム、染色など、新宿区ならではの、後世まで引き継ぐべき文化を障害者、障害児も含めた多世代で体験できるスペースを設けてほしい。</p> <p>また、貧困層に向けた年代問わず子ども食堂的なアプローチにも転用できる食堂を設置してほしい。</p> <p>さらに、新宿区勤労者・仕事支援センターのコミュニティショップ「ふらっと新宿」と提携する店舗など、障害者雇用を積極的に推進する店舗を設置し、導入してほしい。</p> <p>地域コミュニティの推進、地域支えあい活動など、多世代の交流が叶う本プロジェクトでは、誰をも取りこぼさないでほしい。</p> <p>本プロジェクトの近隣には保育園から幼稚園小学校中学校がそろっており、ここに障害者の方が当たり前存在する空間を作ることにより、感性豊かな子供たちは、心で共生社会を学ぶことが出来る。</p> <p>また、子供たちが障害者や高齢者と日常的に交流し、実体験を重ねることにより、共生社会を学び、持続可能な社会を構築できる人材に育ててほしいと願っている。</p>	<p>旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地の活用については、福祉、防災、教育等に資する場として、隣接する牛込第一中学校の敷地と一体で活用し、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の設置、防災広場の整備、牛込第一中学校の建替え、中町図書館の移転を行います。</p> <p>区では、世代に関わらず、一人ひとりが役割を持ち、互いに助け合い、支え合う地域支えあい活動を推進しており、高齢者施設に整備を予定している地域交流スペースにおいて、地域支えあい活動を行う個人及び団体を育成・支援するための事業を実施する予定です。</p> <p>また、図書館は乳幼児から高齢者まで、様々な方が利用できる施設として、現在も多世代の交流の場とした取組みを進めていますが、さらにコミュニティが形成されるような取組みを進めていきます。</p>

「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等施設の活用 牛込第一中学校等施設の設計」に関する意見募集での意見の要旨と区の考え方

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
55	その他の意見		<p>現在予定されている特別養護老人ホームなどの高齢者施設に、障害者のグループホーム(入所施設他)の併設を希望する。</p> <p>特別養護老人ホーム利用該当の高齢者の中には子供に障害があるケースがある。9割の知的障害者が親と同居をしている現状において、親が安心して老いることが出来る新しいモデルケースを、是非、新宿区に作ってほしい。</p>	<p>旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地の活用については、福祉、防災、教育等に資する場として、隣接する牛込第一中学校の敷地と一体で活用し、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の設置、防災広場の整備、牛込第一中学校の建替え、中町図書館の移転を行います。</p> <p>このため、障害者のグループホームを整備する予定はありませんが、払方町国有地を活用した障害者グループホーム整備など、引き続き、民設民営方式によるグループホームの整備に対して施設整備費等の助成を行い、設置促進を図ってまいります。</p>
56	その他の意見		<p>新宿区はスポーツ施設が非常に少ないため、施設一部のスポーツ施設への転用、特にプール施設の設置を希望する。</p>	<p>牛込第一中学校のプールについては、夏季期間のご利用になりますが、地域の皆様にご利用いただけるような整備を検討してまいります。</p> <p>また、牛込第一中学校の屋内運動場や特別教室等については、土曜日・日曜日及び夜間等に開放し、地域の皆様の活動の場としてご利用いただけるよう整備してまいります。</p>
57	その他の意見		<p>市谷小学校が古い。下駄箱がなく、トイレが少ないことで授業の進行に影響している。水飲み場が少なく、絵具のパレットを持ち帰って洗っている。このような現状を教育委員会はどうに認識しているのか。今後建替は考えているのか。</p>	<p>市谷小学校が老朽化していることは認識しており、他の区立学校においても施設の老朽化が進んでいることから、令和3年1月に定めた施設計画により、施設の長寿命化を図ることとしています。建替えについては、大規模修繕などの様々な機会を捉えて検討していきます。</p>
58	その他の意見		<p>池袋本町小学校・池袋中学校のような小中一貫校として、牛込第一中学校と市ヶ谷小学校を整備し、地域の象徴となるモダンな校舎を建ててほしい。</p>	<p>牛込第一中学校については、小中一貫校を整備することは考えておりません。この計画については、「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等の活用方針」に基づき、隣接する牛込第一中学校の敷地と一体で活用し、特別養護老人ホーム等の高齢者施設の設置、防災広場の整備、牛込第一中学校の建替え、中町図書館の移転を行います。</p>
59	その他の意見		<p>図書館、生涯学習館に注力し、高齢者社会でのコミュニティを形成できる場所を希望する。</p>	<p>区では、世代に関わらず、一人ひとりが役割を持ち、互いに助け合い、支え合う地域支えあい活動を推進しており、高齢者施設に整備予定の地域交流スペースにおいて、地域支えあい活動を行う個人及び団体を育成・支援するための事業を実施する予定です。</p> <p>また、図書館は乳幼児から高齢者まで、様々な方が利用できる施設として、現在も多世代の交流の場とした取組みを進めていますが、さらにコミュニティが形成されるような取組みを進めていきます。</p>
60	その他の意見		<p>老人ホームというより、デイケアなどの場が必要ではないか。</p>	<p>特別養護老人ホームについては、区内で多くの入居待ちの方がいる状況であり、広い土地の確保が必要なため、本事業による整備が必要と考えています。</p>

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
61	その他の意見		<p>防災広場用地については、単なる緑地・広場として整備するのではなく、核シェルターとしての機能を整備することを要望する。</p> <p>避難できる地下施設は、近隣ではメトロ神楽坂駅と都営大江戸線牛込神楽坂駅しかないが、夜間は閉鎖されており着実に避難できる場所が現時点で存在しない。ミサイルのターゲットとなり得る防衛省が近いことから備えが必要と考える。</p> <p>通常時は、防音効果のある地下施設として音楽用スタジオや室内運動用スタジオとして区民に貸出・開放する活用方法や災害時の備蓄保管場所として活用する。</p> <p>また、最地下に水槽を備え、緊急時は飲用水として確保し、通常時は防火水槽として活用する。</p> <p>自治体にしかできない「もしも」への備えと通常時の活用を両立させる事例として、全国の自治体をリードし、国民の議論・世論を喚起する施策を実施する志の高さを望む。</p>	<p>国は、弾道ミサイル攻撃などの武力攻撃事態や、大量殺傷物質による攻撃などの緊急対処事態に備えるため、国民保護法（平成16年9月施行）に基づき、国民保護計画を策定し、国民の生命、身体、財産を保護することとしています。都や区においても、国の計画に準じて、それぞれ国民保護計画を策定しています。</p> <p>また、国民保護法では、都道府県知事は、学校や公民館等を「避難施設」として指定することになっており、区内の公共施設も指定を受けています。併せて、コンクリート造り等の堅ろうな建築物や地下街などの地下施設を「緊急一時避難施設」としており、都営大江戸線や東京メトロ東西線の地下駅舎等が指定されています。</p> <p>このように、国民保護法に基づき公共施設等が避難施設に指定されていますが、ご要望のシェルターについては、国や都でも整備する計画はありません。</p> <p>区についても、国や都の考えに準じて国民保護対策を行っていますので、独自で、シェルターを整備する考えはありませんが、ミサイル等の有事の際は、Jアラートによる緊急放送を防災スピーカーから実施し、区民等の迅速な避難につなげてまいります。また、大規模災害時等の飲料水については、都が応急給水槽等を整備しており、区内には、1,500㎡の施設2か所、24,000㎡の施設1か所が整備されています。さらに、区では、学校避難所に受水槽を整備しており、発災時は、都の応急給水槽に加えて、受水槽から給水を行います。</p>
62	その他の意見		<p>都や東京消防庁と連携し、「防災訓練VR（ヴァーチャルリアリティ）」を恒常的に設置してはどうか。また、その際には英語のみでなく、地域の特性を考えフランス語についても対応もして欲しい。</p>	<p>住宅が密集している新宿区においては、大規模災害発生時に、区民等が一時退避する場所や防災区民組織の応急活動拠点となるオープンスペースが必要となります。このため当該広場は、地域の行事や活動、周辺の保育所の園児の戸外活動等で活用し、発災時は、地域の応急活動拠点等として使用しますので、防災訓練VRの設置は考えていませんが、避難所防災訓練等でVRを活用した防災啓発について検討してまいります。</p>

「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等施設の活用 牛込第一中学校等施設の設計」に関する説明会での意見の要旨と区の考え方

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
1	方針・設計に関する意見	設計全般	この説明会の意見は計画に反映されるのか	現在実施している意見募集と合わせて今後進める施設等設計の参考とさせていただきます。
2	方針・設計に関する意見	設計全般	本計画を進めるにあたり、もっと丁寧に情報提供してほしい。今後も解体や建設の設計について意見の反映状況など確認する機会はあるのか。	現段階は、設計作業を進めるにあたり、多くの皆様からご意見を頂きたく、説明会や意見募集を実施しています。今後は頂いたご意見を踏まえ設計作業を進めますが、設計が完了する前にも、再度ご意見を頂く機会を設けたいと考えています。
3	方針・設計に関する意見	設計全般	数年で計画が変わるようなことはないよう、跡地の活用を考えてほしい。	施設活用方針に基づき、ご説明した内容で、施設整備に向け、準備を進めてまいります。
4	方針・設計に関する意見	設計全般	本計画の決定プロセスを教えてください。	平成29年1月から内部で検討を開始し、区議会、地元の皆様等からご意見をいただいた後、令和元年に施設活用検討会で方針を検討してきました。その後、方針案を令和2年11月から12月にかけて、パブリックコメントを実施し、いただいたご意見を踏まえ、令和3年1月に方針を決定、令和4年度に敷地割を決定しました。
5	方針・設計に関する意見	設計全般	この計画の総予算額はいくらか。	本事業は設計段階のため、これから整備する建物等について検討を行うものです。今後設計が完了した後、建設等費用をお示しします。
6	方針・設計に関する意見	設計全般	箱物を作るのではなく、平地に少し木を植えるなど広場の整備にすべき。学校は耐震補強も出来ているようだし、箱物を壊し、建てるといったことは理解できない。周辺に大きな広場はないので避難場所としても活用できる広場の整備を望む。	牛込第一中学校校舎の老朽化が進む中、旧市ヶ谷商業高等学校跡地との一体活用により、仮校舎を整備することなく、新校舎が建設出来るなど、施設活用については、これまで区民の皆様からご意見をいただきながら方針を決めたものであり、牛込第一中学校等の整備は進めさせていただきたいと考えています。
7	方針・設計に関する意見	設計全般	本計画は本当に実施するのか。中学校の生徒も減少している状況で、住宅街でこれだけ大きな工事を行う必要があるのか。再検討してほしい。	本計画については、施設活用方針に基づき、進めさせていただきたいと考えています。施設整備を進めるにあたり、丁寧に情報提供させていただきながら、地元の皆様からのご意見を踏まえ、整備を進めていきます。
8	方針・設計に関する意見	設計全般	牛込第一中学校等の設計に対して意見を聴取・反映したあとに出来上がった設計、給食室や体育館の位置などが確認できる詳細なものは見せてもらえるのか。	施設の間取り等については、1年ほどの作業となる基本設計の終盤で、教育委員会と調整の上、皆様にご説明させていただきます。
9	方針・設計に関する意見	設計全般	牛込第一中学校等の設計は途中で見せてもらえるのか。だいたい、何階建てになるか教えてください。	牛込第一中学校等の設計は基本設計の終盤で、教育委員会と調整の上、皆様にご説明させていただきます。建物の高さにつきましては法令上15mまでとなっていますので地上部分で4階くらいの高さが上限となります。
10	方針・設計に関する意見	設計全般	この校区では広場がほとんどない。避難場所として更地での活用ができないのか。	現活用方針に基づき、施設等整備を進めることに変更はありませんが、牛込第一中学校の校庭と合わせた防災広場の活用や、校舎新築による安全性等の向上により避難所機能が向上する予定です。

「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等施設の活用 牛込第一中学校等施設の設計」に関する説明会での意見の要旨と区の考え方

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
11	方針・設計に関する意見	設計全般	景観の観点から、樹木を建物周辺に植える、防災の観点から、広い空間を設けることに配慮してほしい。	景観・緑化については区の条例に規定に基づき、適切に実施してまいります。
12	方針・設計に関する意見	設計全般	緑地に樹木をどのくらい植えるのかなども設計が終わった段階で公開してもらえるのか。	今後教育委員会と調整の上、説明内容につきましては検討します。
13	方針・設計に関する意見	設計全般	屋上緑化は計画上あり得るのか。	屋上緑化も検討内容の一つとして考えています。
14	方針・設計に関する意見	設計全般	近隣住民は、10年間の工事期間だけでなく、建設後も騒音に悩まされることになる。今でも平日は学生の声、土日は施設利用者の声により、遅くまで迷惑する状況にある。建替後は音や声が外に漏れない作りしてほしい。また、開放施設の出入口を敷地内側に設けるなど、近隣家屋の前で集まるような状況が生まれないようにしてほしい。特に学校・体育館・校庭の出入口は非常にうるさくなる。	いただいたご意見を踏まえ、建物の防音対策は、設計を進める中で検討してまいります。
15	方針・設計に関する意見	設計全般	施設完成後は、来街者が増えるため、カーブミラーの設置など道路の安全対策を講じてほしい。	周辺道路の安全対策は重要と考えますので、所管部と調整いたします。
16	方針・設計に関する意見	設計全般	レンタサイクルポートが旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地に設置されているが、土日は道路に自転車があふれている。工事期間中はどこに移設されるのか。	解体設計はこれからのため、サイクルポート移設の計画などはこれからの検討となりますが、ご指摘いただいた土日の状況などを踏まえ、移設先などは調整をさせていただきます。
17	方針・設計に関する意見	設計全般	学校、高齢者施設について、東京都を進める太陽光パネル設置義務の対象となるのか。太陽光パネルは火災時に水で消火出来ない、有害物質が出るなどデメリットが多いが、住民にはあまり伝わっていない。周辺住民は危険な思いをすることになるが、その点について説明してほしい。	環境負荷低減、省エネの観点から区有施設については積極的に太陽光パネル設置を進めています。経年劣化による処分時には法令を遵守するとともに、環境への影響に配慮し、適切に処理します。
18	方針・設計に関する意見	設計全般	太陽光パネルは、火災時・処分時に有害物質が出てしまう。また、埋め立て処理されるのも問題。それでも太陽光パネル設置を推進するのか。設置による環境負荷低減の部分だけでなくデメリットの部分も検討してほしい。	区では新たに建設する区有施設には環境への配慮として太陽光パネルを整備しており、これから建設する牛込保健センターにも設置を予定しています。太陽光パネルの設置につきましては、デメリットと環境への配慮などのメリットを、総合的に検討してまいります。
19	方針・設計に関する意見	工事関係	旧牛込保健センターの解体を見ていたが、埃と振動がすごい。振動は周辺家屋の躯体にも影響するため、解体手法については影響を最小限に抑える最新の工法を採用してほしい。	現在進めている旧牛込保健センター解体におきましては様々ご意見いただいております。工事を進める中で工夫をし、今後も改善を重ねてまいります。本事業につきましてもご迷惑を最小限に抑えるよう取り組んでまいります。振動につきましては重機の動く際に発生するため、作業時間帯などはご意見いただければ調整をさせていただきます。

「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等施設の活用 牛込第一中学校等施設の設計」に関する説明会での意見の要旨と区の考え方

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
20	方針・設計に関する意見	工事関係	周りの道幅が狭く、工事車両の出入りが心配。周辺道路は高齢者や幼児の散歩道になっているので、道幅を広げたり、工事車両専用の道路を設けるなど計画があれば教えてほしい。	ご指摘のとおり、周辺道路の道幅は狭い為、通学時間や人通りの多い時間帯などを勘案して工事車両の出入時間を調整します。現段階で具体的な計画をお示しすることは出来ませんが、安全を第一にに工事を進めるために、工事車両の大きさを調整するなど設計を進める中で検討してまいります。
21	方針・設計に関する意見	工事関係	工事期間中の安全確保については施工業者の指導を徹底すること。	区と施工事業者一体となり、工事期間中の安全確保に努めてまいります。
22	方針・設計に関する意見	工事関係	施設周辺の道路は狭く一方通行が多いため、道路工事の際は迂回などが行われるが、迂回ルート設定でトラブルになることがあるので、適切な誘導を行ってほしい。	ご意見を踏まえ、工事による道路の通行規制の際には、周辺道路への適切な誘導が出来るよう進めてまいります。
23	方針・設計に関する意見	工事関係	重機について、周辺道路は狭いため、4トン車でも搬出入が難しいのではないかと。	搬出入路については交通規制や道路の幅員に合わせた使用車両など事前に検討させていただき、近隣の皆様への影響を最小限に抑えたいと考えています。解体工事の詳細につきましては、解体設計の内容をご説明できる段階が来ましたら、お示しいたします。
24	方針・設計に関する意見	工事関係	校舎は相当頑丈に作られていると思うが解体はかなり難しいのでは。	堅牢な校舎の解体はかなりの労力を要しますが近隣の方への影響を最小限に抑えながら行っていきます。
25	方針・設計に関する意見	工事関係	工期が長く、近隣住民の負担が大きい。	工期が長く、近隣の皆様にはご迷惑おかけします。工事期間中の騒音・振動を最小限に抑えるため、低騒音の重機の使用や、低騒音・低振動の工法を選定するなど、工夫してまいります。また、近隣の皆様にご意見いただき、工事実施時間の調整も行わせていただきます。
26	方針・設計に関する意見	工事関係	牛込第一中学校の生徒は、騒音の中授業を行うことを納得しているのか。	施設解体にあたっては騒音・振動を最小限に抑え、教育活動への影響を最小限に抑えるよう、設計作業を進めてまいります。また、工事期間においても、教育活動への影響を最小限に抑えるよう施工事業者と綿密に調整を図ってまいります。
27	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	牛込第一中学校生徒数は年々減少している。今の校舎で現生徒は不満を持っているのか、この状況で箱物を作らなくてはならないのか。	牛込第一中学校のご数年の生徒数は約100名の規模が続いています。現在、学校からは雨漏りの報告を受けるなど、建物の老朽化に伴う支障が生じている状況や、複雑化した校舎内の移動経路の見直し、バリアフリーの必要性等を踏まえ、安全な教育環境を確保するためには、校舎の建替は必要なものと考えています。
28	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	生徒が減少している状況で、他の中学校との合併は検討したのか、合併を検討せずに老朽化による建替を決めたのか。合併が可能なら生徒への影響も最小限となるのではないかと。	牛込第一中学校のご数年の生徒数は約100名の規模が続いています。校舎建替については、建物の老朽化や複雑化した校舎内の移動経路の見直し、バリアフリーの必要性等を理由に決定させていただいたものです。なお、近隣の中学校においても生徒数の大きな減少を見込んでいないことから、他校との合併については検討していません。

「旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地等施設の活用 牛込第一中学校等施設的设计」に関する説明会での意見の要旨と区の考え方

通番	意見区分	施設区分	意見要旨	区の考え方
29	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	牛込第一中学校の建替ありきで、整備が進められることに疑問がある。	旧都立市ヶ谷商業高等学校跡地と牛込第一中学校敷地を一体で活用することにより、牛込第一中学校校舎の建替と高齢者施設、防災ひろばの整備が実施出来ることから、本計画を進めることとなりました。牛込第一中学校校舎の建替のみを目的とした計画ではありません。
30	方針・設計に関する意見	牛込第一中学校	学校に連絡を取りたい場合の窓口は決まっているのか。工事期間中の連絡先を知りたい。	学校施設に関するお問い合わせは教育委員会事務局学校運営課教育施設係（TEL03-5273-3106）へご連絡ください。
31	方針・設計に関する意見	地域図書館	中町図書館の移設について、規模は同じくらいのものか。	設計を進める中で規模は決まってくる。現在約500㎡の中町図書館よりも少しでも広い図書館にしたいと考えています。
32	方針・設計に関する意見	地域図書館	中町図書館は利用者が少ない。図書館は必要なのか。	現図書館の利用者は一定程度いらっしゃる中で、課題となっているバリアフリー対応が実現する機会のため、移転を行いたいと考えています。
33	方針・設計に関する意見	高齢者施設	高齢者施設はどのくらいの規模のものが建つか。	民間事業者による整備を予定していますので建物は、高さ等の制限に合わせたものとなりますが、詳細は整備事業者決定後に決まります。
34	方針・設計に関する意見	高齢者施設	周辺には多くの高齢者施設があるが、高齢者施設は必要なのか。特定の施設が地域に偏らない整備を行ってほしい。	特別養護老人ホームは、区内で多くの入居待ちの方がいる状況のため、整備が必要と考えています。区内に整備する施設については、出来るだけ偏りなく整備をしていきたいと考えています。
35	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	屋内運動場、プール、特別教室などを地域活動の場として活用できるよう整備するとしているが、具体的なイメージを教えてください。	地域の皆様の活動の場としてご利用いただけるよう、土曜日・日曜日及び夜間等に、屋内運動場や特別教室等の施設を開放できるような施設整備を行ってまいります。具体的には、曜日や時間帯によって導線を分けるなど、セキュリティ等の対策を講じた設計・運用方法を検討してまいります。
36	その他各施設に関する意見	牛込第一中学校	学校施設の地域活動への活用について、区民1人では施設は利用しづらい。出来ればコズミックスポーツセンターのように、事業者を入れてプログラムを作り、一人でも参加しやすい場としてほしい。	学校施設については、団体開放に加えて、現在は新型コロナウイルス感染症の影響により中止していますが、種目を定めて個人でも利用できる開放を実施している学校もあります。 いただいたご意見を参考にさせていただき、地域の皆様が利用しやすい場となるよう、検討を進めてまいります。
37	その他各施設に関する意見	防災広場	防災広場は公園みたいな整備を行うのか。運用方法など決まっていれば教えてください。	中学校校庭と合わせて直線走路の確保を行うため、基本的にはフラットな広場を想定していますが、現在、設計作業を行っていますので、意見募集などでいただいたご意見を参考に、設計を進めてまいります。
38	その他の意見		牛込保健センターに設置予定の太陽光パネルについて、生産国と数量を教えてください。	建設中の牛込保健センター等複合施設に設置する太陽光パネルは大きさ1662mm×990mmのものを36枚設置する予定です。どのメーカーのものを採用するか現時点で決まっていないため、生産国についても決まっておりません。（数量等の確認が必要であったため、説明会当日は未回答）
39	その他の意見		火災発生時の太陽光パネルの消火方法について説明してほしい。	太陽光パネルの設置についても今後の設計で検討していきますが、設置の際は安全性や火災時の消火方法など十分に配慮したものとします。